

# 部活応援隊が行く!!

皇學館中学校  
未来理工部  
編

プログラミングを通じて社会貢献を目指す

## 皇學館中学校

# 未来理工部

普段はプログラミングを通じて学内のイベントを盛り上げる活動をされている、皇學館中学校未来理工部。

昨年よりU-16プログラミングコンテストにエントリー。

今年も12月に開催される同大会に向けて日々研鑽されているそうです。

今回は同学内の皇學館大学と連携し、プログラミングを専門とする

教育学部の大杉教授ゼミ内で、大学生が教えるドローン体験の授業に参加しているところをお邪魔しました。



Q1 部活動を通じて生徒さんにもらいたいですか?

A1 (吉田先生)

プログラミングの楽しさを実感してもらい、プログラミングを通じて、すれば社会貢献につながるを考えて欲しいです。



顧問 吉田 康人先生

Q4 大学と中学の結び付きの中で今後の展望を教えてください。

A4 (大杉教授 中学の段階から大学の授業を経験することによって、さらなる力がかさるに発揮できるのではないかと思います。

大杉教授 皇學館大学



二次元コードを読み取ると未来理工部のコメントが見られます。



Q6 U-16プログラミングコンテストにむけてどのような準備をしていますか?

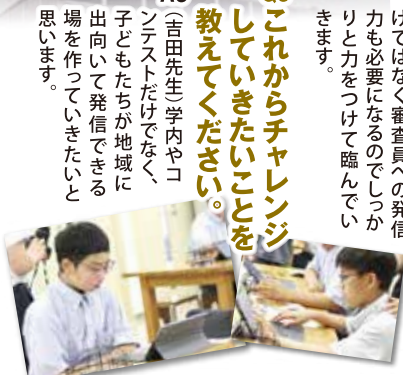
A6 (山下さん) まだ課題が出ていないので、具体的にわかりませんが、人の役に立ちたいという思いがあるので、それを踏まえたものを作りたいです。

山下 輝之さん(3年生) (やました てるゆき)



Q3 これからチャレンジしていきたいことを教えてください。

A3 (吉田先生) 学内やコンテストだけでなく、子どもたちが地域に出向いて発信できる場を作っていきたいと思っています。



Q5 U-16に向けて先生の思いを教えてください。

A5 (吉田先生) 部活動を通じて色々なアイデアが出てくると思います。そこで見出したものを出してもらえたらと思います。



皇學館大学 大杉 成喜教授

Q7 将来どのようになっていきたいですか?

A7 (山下さん) 将来プログラミングを通して人の役に立つものを作りたいと思っています。

